

# 未来の創り手育成プログラム研究アドバイザー派遣及び 分析・提言業務委託仕様書

## 1 委託業務名

未来の創り手育成プログラム研究アドバイザー派遣及び分析・提言業務委託

## 2 業務委託の目的

新しい時代に求められる資質・能力を踏まえた授業・指導方法の研究を推進するとともに、キャリア教育・進路指導の充実を図り、生徒の学ぶ意欲の向上や進学に対応できる資質・能力の育成を目指し、民間企業の見識や経験を生かしたアイデアや視点による令和の日本型学校教育研究開発に関する研究支援を求めるものである。

## 3 履行期限

令和9年3月31日

## 4 未来の創り手育成プログラム研究アドバイザーの要件

未来の創り手育成プログラム研究アドバイザーは、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、学習評価、探究学習、キャリア教育、進路指導等について幅広い見識を有する者であること。また、業務の履行に当たっては、未来の創り手育成プログラム研究アドバイザーの人数については問わないが、未来の創り手育成プログラム研究アドバイザー決定後は、会社の身分証明書（写）及び履歴書を提出すること。

## 5 未来の創り手育成プログラム研究アドバイザーの業務

### (1) 未来の創り手育成プログラム研究指定校における研究支援

#### ア 目的

研究指定校を中心とする本県県立高校における主体的・対話的で深い学びの実現を図るための授業改善、学習評価、探究学習、アクティブ・ラーニング、多面的・多角的評価の視点からの指導改善に関する研究及び研修の支援を行う。

#### ○ 未来の創り手育成プログラム研究指定校 2校

#### イ 内容

(ア) 主体的・対話的で深い学びの実現の視点からの指導改善のための現状分析を行うこと。（実施時期は、指定校及び高校教育課と協議すること）

a 各研究指定校の生徒の実態に関する分析を行うこと。分析にあたっては、研究指定校の生徒を対象に、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を測定できるアセスメント等を年1回実施することとし、実施後は分析報告会を行うこと（分析報告会は、(イ)の校内研修や、(ウ)の研究指定校連絡協議会と兼ねることができる）。

b 各研究指定校の管理職や進路指導部等の教員への取材（メールや電話など）による課題の分析を行うこと。

(イ) 指導改善に関する助言を行うこと。

（実施時期、回数は指定校及び高校教育課と協議すること。）

a 主体的・対話的で深い学びの実現や探究学習、アクティブ・ラーニング、多面的・多角的評価の視点からの指導改善に関する校内研修を行うこと（年 1 回以上）。

（講師等による情報提供、研修方法に関する提案などを行うこと。）

b 先進的な指導事例についての情報提供を行うこと。

(ロ) 研究支援結果の検証を実施すること。

a 指導における課題の改善等の検証を行うこと。

b 研究指定校連絡協議会（年 1 回、2～3 月の予定）において、研究支援結果について報告し、研究支援結果を生かした次年度の研究に関する提言を行うこと。（100 分程度）

## (2) 未来の創り手育成プログラム研究推進員及び高校教育課指導主事等に対する研究支援

### ア 目的

研究推進員及び高校教育課指導主事による主体的・対話的で深い学びの実現を図るための授業改善、探究学習、アクティブ・ラーニング、多面的・多角的評価の視点から、研究推進員及び高校教育課指導主事に対して指導改善に関する研究及び研修の支援を行う。

○ 未来の創り手育成プログラム研究推進員 20 人（研究指定校を含めた県立高校より 20 人を決定）

○ 高校教育課指導主事 7 人（研究推進員に対する研修会運営担当者）

### イ 内容

(ア) 授業改善に向けた教科指導の診断及び提言

a 主体的・対話的で深い学びの実現を図るための授業改善に取り組んでいる各教科の先進的な指導事例についての情報提供

b ブラッシュアップ・ゼミ（鹿児島市で開催…6 月 19 日を想定）における、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に精通した講師の選定及び派遣

c 校内研修における支援

## (3) キャリア・デザインセミナーにおける支援

### ア 目的

高校生を取り巻く進路環境の大きな変化を踏まえ、各学校の特色を生かしたキャ

リア教育と進路指導の充実を図る。

イ 内容

キャリア・デザインセミナー（年1回、11月を想定）において、講師による講義等を行うこと。（講義は半日程度、詳細については高校教育課と協議し実施すること。）

a 大学入学共通テスト等の情報提供等を行うこと。

b キャリア教育に精通している人物による講義や情報提供を行うこと。

**(4) 探究力向上セミナーへの支援**

ア 目的

生徒のプレゼンテーションスキル向上及び探究活動の支援を行う。また、生徒自らが発表したり、他校の発表を聴く体験を通して、学習意欲や探究学習への意欲を高め、進路意識と学力の向上を図る。

イ 内容

年3回（6月、8月、10月）にオンラインや対面での探究活動について見識の豊かな講師による講演を行うこと。特に、1月は高校生探究コンテストにおける講演者として派遣すること。

**(5) 報告書の提出**

未来の創り手育成プログラム研究指定校に対する支援状況（分析結果や課題・成果、次年度の取組についての提言等）を記した報告書を2部（紙媒体）及び電子媒体で本課に提出すること。